

各 位

会 社 名 株式会社ヤマノホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 山 野 義 友
(J A S D A Q コード番号 7571)
問い合わせ先 取締役常務執行役員
管理副本部長 岡 田 充 弘
電 話 番 号 0 3 - 3 3 7 6 - 7 8 7 8

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は平成28年3月期決算におきまして、下記のとおり特別損失を計上いたしますので、お知らせいたします。

記

<連結決算>

1. 特別損失の計上について

(1) のれんの減損損失

本日付「(訂正・数値データ訂正)「平成28年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)」の一部訂正について」で公表しましたとおり、当社が平成27年11月に連結子会社化した株式会社すずのきに係るのれんについて、株式取得時における取得原価の配分について修正が発生し、当該子会社の回収可能見込額よりのれんが過大に計上される状況となりました。

この取得原価の配分の修正は、当該子会社の取得時における一時的な純資産の減少であり、将来の収益に影響するものではありませんが、当連結会計年度末ののれん残高については回収可能見込額に適正化するため、53百万円の減損損失を計上いたします。

(2) 事業用固定資産の減損損失

当社及び連結子会社が保有する事業用資産において、収益性の低下が見られたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失37百万円を特別損失として計上いたします。

2. 業績に与える影響について

上記の減損損失につきましては、本日公表の「平成28年3月期通期業績予想との差異に関するお知らせ」に反映しております。

<個別決算>

1. 特別損失の計上について

当社連結子会社である美容事業を営む株式会社マイスタイルについて、当社のグループ内再編の一環として、平成24年9月に同社株式の追加取得を行いました。その後同社の業績が、競合店の

飽和状態による客数減や慢性的な人財不足などを主因として、追加取得時当初に策定した計画を下回って推移していることから、今後の計画を見直した結果、関係会社株式評価損を 114 百万円計上いたします。

2. 業績に与える影響について

上記の特別損失は、連結上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上